FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド

Symantec Backup Exec 2014 修正適用編

改版履歴

版数	改版日	変更内容
1.0 版	2015 年 2 月	初版

本書は、FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 に Backup Exec 2014 の修正プログラムを適用する手順につい て説明した資料です。

本書は、事前の予告なく変更される場合があります。

第1版 2015年2月

Symantec(シマンテック)、Symantec ロゴ、チェックマークロゴおよび Backup Exec は、米国およびその他の国における Symantec Corporation またはその関連会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat は米国およびそのほかの国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本書の表記について

- ・「FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2」を「ETERNUS BE50 S2」と表記しています。
- ・「Symantec Backup Exec 2014」を「Backup Exec 2014」と表記しています。
- ・「Symantec Backup Exec 2014 Agent for Windows Systems」を「Agent for Windows」と表記しています。
- ・「Symantec Backup Exec 2014 Agent for Linux」を「Agent for Linux」と表記しています。
- ・ バックアップ、リストアの対象となるコンピュータを「リモートコンピュータ」と表記しています。
- ・「Central Admin Server Option」を「CASO」と表記しています。
- ・「Symantec Backup Exec 2014 管理者ガイド」で説明されている「集中管理サーバー」を「集中管理サーバ」、 「管理対象 Backup Exec サーバー」を「管理対象サーバ」と表記しています。
- ・ 修正パッチ(Hotfix)や Service Pack を総称して、修正プログラム(以降、「修正」と表記)と記載しています。

本書の内容と構成

本書は、以下の章から構成されています。

● <u>第1章 概要</u>

ETERNUS BE50 S2 に Backup Exec 2014 の修正を適用する方法について紹介しています。

- 第2章 適用済み修正の確認
 ETERNUS BE50 S2 に適用されている修正の確認方法について説明しています。
- <u>第3章 適用可能な修正の確認</u> ETERNUS BE50 S2 に適用可能な修正が提供されているか確認する方法について説明しています。

● <u>第4章 LiveUpdate による自動適用</u>

LiveUpdate を使用して修正を適用する方法について説明しています。

<u>第5章 手動での修正適用</u>
 手動で修正を適用する方法について説明しています。

● <u>第6章 リモートコンピュータへの修正適用</u>

Agent for Windows、Agent for Linux がインストールされているリモートコンピュータに修正を適用する方法に ついて説明しています。

● <u>第7章 CASO 環境への修正適用</u>

集中管理サーバおよび管理対象サーバに修正を適用する方法について説明しています。

製品のドキュメントについて

本書は変更される場合があります。本書の最新版については以下の URL から入手してください。 <u>http://storage-system.fujitsu.com/jp/catalog/manual/dedupe/</u>

本書に関連するマニュアルには、以下のものがあります。必要に応じて参照してください。

- ・ Symantec Backup Exec 2014 管理者ガイド
- ・FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 製品概説
- ・ FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 ユーザーズガイド 初期設定編
- ・ FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド データ複製編

本書同様に、上記 URL からダウンロードできます。

目次

第1章	概要	7
第2章	適用済み修正の確認	8
第3章	適用可能な修正の確認	9
第4章	LiveUpdate による自動適用	
第5章	手動での修正適用	14
第6章	リモートコンピュータへの修正適用	
6.1	リモートコンピュータ(Windows)への修正適用	
6.2	リモートコンピュータ(Linux)への修正適用	
第7章	CASO 環境への修正適用	23
7.1	集中管理サーバの修正適用	23
7.2	管理対象サーバの修正適用	

第1章 概要

ETERNUS BE50 S2 に Backup Exec 2014 の修正を適用するには、以下の方法があります。

・ LiveUpdate での適用

LiveUpdate を使用するためには、ETERNUS BE50 S2 がインターネットに接続できる環境が必要です。 ETERNUS BE50 S2 に、Symantec Endpoint Protection をインストールし、独自の LiveUpdate サイトへ接続す る設定になっている場合、本装置の Backup Exec 2014 の修正もそのサイトを参照します。お使いの LiveUpdate Server へ Backup Exec 2014 の修正を格納してください。 LiveUpdate Server に修正が格納されていない場合、「現在このコンピュータにインストールしてあるシマンテック

製品とコンポーネントのすべては最新版です。更新版の有無を高い頻度で調べることを忘れないでください。」の メッセージが表示されます。

・ 手動での適用

以下の URL から Backup Exec 2014 の修正をダウンロードし手動で適用します。

FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2: ダウンロード http://storage-system.fujitsu.com/jp/products/dedupe/be50-s2/tool/

注意

- 適用した修正は削除することはできません。
- 修正適用後、システムの再起動が必要です。
- ・ すべてのリモートコンピュータ上のエージェントに修正を適用してください。

第2章 適用済み修正の確認

ETERNUS BE50 S2 に適用されている修正の確認方法について説明します。

手順

- 1. ETERNUS BE50 S2 に Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- 2. [Backup Exec]ボタンから、「インストールとライセンス」の「インストール済みの更新」を選択します。

8	Symantec Bac	kup Exec™ 2014
🕞 😭 🧃 📢	-117 b⊽ \$1 7 ∓− <i>b</i> − 7 bu−\$3 ba	
Backup Exec サーバーに接続	この Backup Exec サーバーにオブションと ライセンスをインストールする 他のサーバーにエージェントと Backup Exec サーバーをインストールする	 テクニカルサポート ♥ インストールとアップグレード Con レベル ♥ ドキュント er Recovery ♥ うちせンスおよび保守契約 ♥ Symantec RSS リーダー サポート
() インストールとライセンス ・	LiveUpdate インストール済みの更新 ライヤンス/信頼	yクアップ状態 ☆ □ ×
Symantec オンライン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	保守契約情報 保守契約備報 保守契約顧客番号	バックアップが作成されていません。 この Backup Exec サーバーのバックアップを作成
	ユーザー使用許諾契約書 インストールの概略レポート	ックアップされていません
📢 閉じる		<i>vクアップサイズ</i>
でした でした	リバックアップコンピュータをリカバリできるように、 Disaster Recovery ディスクを作成する必要があり ロディスクの作成 ※ ロ ×	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
💮 1 SV031 アラート 📀 0 🧍	0 🖓 0 🚯 1 🗦∋ブ 🌺 0 👼 0 🌺 0	🍻 🧭 Symantee.

3. 適用されている修正を確認し、[OK]ボタンをクリックします。



FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド Symantec Backup Exec 2014 修正適用編 Copyright 2015 FUJITSU LIMITED P3AM-9402-01Z0

第3章 適用可能な修正の確認

ETERNUS BE50 S2 に適用可能な修正が提供されているか確認する方法について説明します。

ETERNUS BE50 S2 をインターネットに接続できない環境でご利用の場合は、以下の URL で適用可能な修正が 提供されているかご確認ください。

FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2: ダウンロード http://storage-system.fujitsu.com/jp/products/dedupe/be50-s2/tool/

手順

- 1. ETERNUS BE50 S2 に Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- 2. [Backup Exec]ボタンから、「インストールとライセンス」の「LiveUpdate」を選択します。



3. [次へ]ボタンをクリックします。



4. インストール可能な修正が表示された場合は、[キャンセル]ボタンをクリックし、ご利用の環境にあわせたイン ストール手順を実行してください。

@	LiveUpdate	x
オプション(0)		
	LiveUpdate が次のシマンテック型品とコンポーネントの更新版を見つけ た。更新版をインストールしたくない場合にはチェックマークをはずしてください	まし い
	Symantec Backup Exec (TM) 2014 Symantec B	¢
-	く III 1 個の更新版を選択しました 合計サイズ: 2578.	> 4 KB
	更新版 Symantec Backup Exec (TM) 2014	^ ~
	[次へ(N)] をクリックすると更新版をダウンロードしてインストールできます	F
	次へ(N) > キャンセル へルプ	'

- ETERNUS BE50 S2 をスタンドアロン環境でご利用の場合
 「<u>第4章 LiveUpdate による自動適用</u>」または「<u>第5章 手動での修正適用</u>」を参照してください。
- ETERNUS BE50 S2 を CASO 環境でご利用の場合
 「<u>第7章 CASO 環境への修正適用</u>」を参照してください。

修正が適用されている場合、以下の画面が表示されるので[完了]ボタンをクリックします。



第4章 LiveUpdate による自動適用

LiveUpdate を使用して修正を適用する方法について説明します。

手順

- 1. ETERNUS BE50 S2 に Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- 2. [Backup Exec]ボタンから、「インストールとライセンス」の「LiveUpdate」を選択します。

8	Symantec Ba	ckup Exec™ 2014	_ D X
	₩ <u>₩</u> ₩7K7 %aft- <i>b</i> - 7Kµ-% µ,		
Backup Exec サーバーに接続 磁 構成と設定	この Backup Exec サーバーにオプションと ライセンスをインストールする 他のサーバーにエージェントと Backup Exec サーバーをインストールする	 テクニカルサポート ✓ インストールとアップクロ Con レベル ✓ ドキュメント ✓ ティセンスおよび保守契約 ✓ Symantec RSS リーグー サポート 	/-K
・ ・ ・ ・ <td< th=""><th><u>LiveUpdate</u> インストール済みの更新 ライセンス情報 保守契約債報 保守契約顧客番号 ユーザー使用許諾契約書 インストールの俄略レポート</th><th>・クアップ状態 バックアップが作成されていません。 この Backup Exec サーバーのバックアップを作用 ・ クアップサイズ</th><th>× • ×</th></td<>	<u>LiveUpdate</u> インストール済みの更新 ライセンス情報 保守契約債報 保守契約顧客番号 ユーザー使用許諾契約書 インストールの俄略レポート	・クアップ状態 バックアップが作成されていません。 この Backup Exec サーバーのバックアップを作用 ・ クアップサイズ	× • ×
Content of the state of	バックアップコンピュータをリカバリできるように、 isaster Recovery ディスクを作成する必要があり リティスクの作成	5: 7日 · 『元全 『増分 』 差分	015/01/16
🔹 🛛 🐧 SV031 🛛 アラート 🐼 0 🔥	0 😭 0 🚯 1 😕 🧭 0 😼 0		Symantec.

3. [次へ]ボタンをクリックします。



FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド Symantec Backup Exec 2014 修正適用編 Copyright 2015 FUJITSU LIMITED P3AM-9402-01Z0 4. インストール可能な修正にチェックが入っていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

ଡୁ	LiveUpdate	x
オプション(0)		
	LiveUpdate が次のシマンテック製品とコンポーネントの更新版を見つけま た。更新版をインストールしたくない場合にはチェックマークをはすしてください。	ι,
	B-♥」 Symantec Backup Exec (TM) 2014 └─♥� BE 2014 SP2 is coming soon to LiveUpdate!	(2
119	< III	>
1 min	1 個の更新版を選択しました 合計サイズ: 2578.4	KВ
	更新版 Symantec Backup Exec (TM) 2014	^ ~
	[次へ(N)] をクリックすると更新版をダウンロードしてインストールできます。	
	次へ(N) > キャンセル へルプ	

5. [完了]ボタンをクリックします。

(0)	LiveUpdate	x
オプション(0)	(0)	
	LiveUpdate をお使いいただきありがとうごさいます。次のシマンテック製品 ンポーネントが最新版になりました: P ・ Symantec Backup Exec (TM) 2014 DE 2014 SP2 is coming soon to LiveUpdate! DE 2014 SP2 is coming soon to LiveUpdate! LiveUpdate がこの更新版を正常にダウンロードしてインストールしま た。	сеў.
	完了 キャンセル ヘルプ	

- 6. OS を再起動します。
- 「<u>第3章 適用可能な修正の確認</u>」を実施し、適用可能な修正がないことを確認します。
 適用可能な修正があった場合は、その修正を適用します。

第5章 手動での修正適用

手動で修正を適用する方法について説明します。

手順

- 1. ETERNUS BE50 S2 に Administrator でログオンします。
- 2. Cドライブに任意のフォルダを作成し、ダウンロードした修正を格納します。
- 3. 修正をダブルクリックします。

🌆 l 💽 📓 = l	アプリケーション ツール	修正	_ D X
ファイル ホーム 共有	表示 管理		~ ()
🔄 🕘 🔹 🕇 퉬 🛛 修	Ē	 ぐ じ 修正の検索 	م
☆ お気に入り	名前	更新日時 種類	サイズ
🚺 ダウンロード	BE1786.1093RSP2_x64bit	2014/12/15 14:47 アプリケーション	327,452 KB
■ デスクトップ 32 最近表示した場所			
r∰ PC			
📬 ネットワーク			
1個の項目 1個の項目を	選択 319 MB		:=

4. [更新]ボタンをクリックします。



FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド Symantec Backup Exec 2014 修正適用編 Copyright 2015 FUJITSU LIMITED P3AM-9402-01Z0 5. 修正が適用されると以下の画面が表示されるので、[完了]ボタンをクリックします。



6. OS を再起動します。

第6章 リモートコンピュータへの修正適用

6.1 リモートコンピュータ(Windows)への修正適用

Agent for Windows がインストールされているリモートコンピュータに修正を適用する方法について説明します。

手順

- 1. ETERNUS BE50 S2 に Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- 2. Backup Exec 管理コンソールの[Backup Exec]ボタンから、「インストールとライセンス」の「他のサーバーに エージェントと Backup Exec サーバーをインストールする」を選択します。

8	Symantec Backup Exec™ 2014 (¶	管理対象の Bac	kup Exec サーバー)	_ _ ×
	┉ <u></u> װז. אם דבר אור אין ראי וז.			
Backup Exec サーバーに接続	この Backup Exec サーバーにオプションと ライセンスをインストールする 他のサービーにエージェントと Backup	:Con レベル er Recovery	 テクニカルサポート ✓ インストールとア ✓ ドキュメント ✓ ライセンスおよび保守契約 ✓ Symantec RSS リーダー 	<i>ップグレード</i>
→ 構成と設定 ・	Exec サーバーをインストールする	J	サポート	A
() インストールとライセンス・	LiveUpdate インストール済みの更新	ックアップ状態		* 🗆 X
Symantec オンライン・	ライセンス情報 保守契約情報		バックアップするために複数のサーバーが追加れ のセクションをポイントして、これらのサーバーの 状態を表示してください。	されました。 円グラフ ババックアップジョブの
€8 テクニカルサポート ・	保守契約顧客番号 7-ff-使用許諾契約書		サーバーの状態:	E
ペルプとマニュアル・	インストールの概略レポート		 ○ 内(3): ○ 失敗: ○ 成功 (周(4)加理=50): 	0
東 閉じる			 (1) 「ない」「マリンマシュニッシン」・ (2) 最初にスケジュールが設定されているバ (2) バックアップしない: 	ックアップ:0 1
Simplified D ます。 ディザスタリカバ インストールとアップグレード ◆ インストールの内容レポートを表示 ドキュメント (◆) Readme を表示する	isaster Recovery ディスクを作成する必要があり Jディスクの作成 ※ ロ × ※ ロ ×	ペックアップサイズ 違去: 7日 ▼ 16- 14- 10- 12- 10- 10- 10- 10- 10- 10- 10- 10	▼ 完全 ▼ 増分 ▼ 差分	
🕘 BE50S2MMS アラート 😣	1 🛕 2 📝 0 🕡 10 🗦 🕬 1 🜉 0 🎎	0 🧳		Symantec.

3. 更新の準備が完了していることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



4. [インストール]ボタンをクリックします。



5. 正常にインストールが完了したことを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



17 FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド Symantec Backup Exec 2014 修正適用編 Copyright 2015 FUJITSU LIMITED P3AM-9402-01Z0

6. [完了]ボタンをクリックします。



7. リモートコンピュータを再起動します。

6.2 リモートコンピュータ(Linux)への修正適用

Agent for Linux がインストールされているリモートコンピュータに修正を適用する方法について説明します。

以下の環境を準備して下さい。

- ・ ETERNUS BE50 S2 に接続できる作業用 PC を用意してください。
- ・ 作業用 PC に修正を一時格納できる容量があることを確認してください。
- ・作業用 PC で Linux サーバにログインできることを確認してください。



す。そのため、ETERNUS BE50 S2 に対する修正適用を先に実施する必要があります。

また、Agent for Linux をインストールしたすべての Linux サーバに修正を適用してください。

手順

- 1. 作業用 PC(例:ホスト名「PC-work」)上に修正の一時格納フォルダ(例:D:¥work)を作成します。
- 2. 作業用 PC の WEB ブラウザを使用して BE50 設定ツールのダウンロード画面を開き、Linux エージェント修正 (ファイル名:LinuxAgentPatch.zip)を一時格納フォルダにダウンロードします。



ダウンロードの詳細については、「FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 ユーザーズガイド 初期設定編」 の「第2章 ダウンロード」を参照してください。

19 FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド Symantec Backup Exec 2014 修正適用編 Copyright 2015 FUJITSU LIMITED P3AM-9402-01Z0 6. 作業用 PC の一時格納フォルダにダウンロードした「LinuxAgentPatch.zip」ファイルを展開します。
 本書では、以下のファイルが展開された場合について説明しています。
 また、修正は複数含まれている場合もあります。

名前	更新日時
ralus1786.1093SP2.tar.gz	2014/12/09

- 4. 展開したファイルのファイル名より修正のバージョンと更新日時を確認します。
 - ・ファイル名の「ralus」以降が修正のバージョンです。
 - ・修正が複数ある場合は更新日時の古いものから順に適用します。
- 5. 作業用 PC から、Linux サーバに root ユーザーでログインします。
- 6. 以下のコマンドを実行し、「ralus=」行に表示される修正のバージョンより、手順4で確認した修正のバージョン の値が大きい場合、修正適用を実施する必要があるため、次の手順に進みます。

cat /var/VRTSralus/ralus.ver ralus=1786.1059.SP1 mdm=MDM_v42.0.7284 vxms=VxMS 4.4 045

手順 4 で確認した修正のバージョンが、「ralus=」行に表示される修正のバージョンと同じ、またはそれ以下の場合、修正は適用済みであるため、以降の手順を実施する必要はありません。

- Linux サーバにファイルを転送するために、作業用 PC の一時格納フォルダを共有設定します。
 本書では、以下の設定を実施して説明しています。
 - ・共有名:work
 - ・アクセス許可(読み取り権)を与えるユーザー: Administrator
- 8. 以下のコマンドを実行し、修正を格納する作業用ディレクトリを作成します。
 # mkdir /var/tmp/RALUS
- 9. 修正が複数ある場合、手順8で作成した作業用ディレクトリ配下に修正ファイル毎のディレクトリを作成します。 本書では修正のファイル名の一部(1093)をディレクトリ名としています。

mkdir /var/tmp/RALUS/1093

10. 以下のコマンドを実行し、作業用 PC の共有フォルダをマウントするためのマウントポイントを作成します。 # mkdir /var/tmp/RALUS/mnt

- 11. 以下のコマンドを実行し、作業用 PC(例:ホスト名「PC-work」)の共有フォルダをマウントします。 # mount -t cifs //PC-work/work /var/tmp/RALUS/mnt -o username=Administrator
- 12. 作業用 PC の Administrator のパスワードを入力します。
- 13. 以下のコマンドを実行し、手順 10 で作成したディレクトリから手順 8(修正が複数ある場合は手順 9)で作成したディレクトリに修正をコピーします。

cp /var/tmp/RALUS/mnt/ralus1786.1093SP2.tar.gz /var/tmp/RALUS

14. 以下のコマンドを実行し、作業用 PC の共有フォルダをアンマウントします。

umount /var/tmp/RALUS/mnt

15. 以下のコマンドを実行し、マウントポイントを削除します。

rm -rf /var/tmp/RALUS/mnt

16. 以下のコマンドを実行し、Linux サーバからログアウトします。

```
# exit
```

- 17. 作業用 PC の一時格納フォルダを削除します。
- 18. 作業用 PC から、Linux サーバに root ユーザーでログインします。
- 19. 以下のコマンドを実行し、作業用ディレクトリに移動します。

cd /var/tmp/RALUS
修正が複数ある場合は、以下のコマンドとなります。
cd /var/tmp/RALUS/1093

20. 以下のコマンドを実行し、修正を展開します。

tar -zxf ralus1786.1093SP2.tar.gz

21. 以下のコマンドを実行し、修正を適用します。

./installraluspatch.sh

22. 「Finished installing RALUS patch...restarting RALUS services...」、「Starting Symantec Backup Exec Remote Agent: [OK]」のメッセージが表示されること、およびエラーメッセージが出力されないことを確認しま

•	す	•
Γ		

***************************************	****	
* SYMANTEC BACKUP EXEC FOR WINDOWS RALUS4.4 PATCH PROGE	RAM *	
***************************************	*****	
* Copyright (c) 2012 Symantec Corporation. All rights reserved	*	
*	*	
* Symantec, the Symantec Logo and all other Symantec product names	*	
* and slogans are trademarks or registered trademarks of Symantec	*	
* Corporation. Symantec and the Symantec Logo Reg. U.S. Pat. &	*	
* Tm. Off. Other product names and/or slogans mentioned herein may be	*	
* trademarks or registered trademarks of their respective companies.	*	
*	*	
***************************************	*****	
Current Backup Exec RALUS base version installed on system : 1786 Current Backup Exec RALUS patch version installed on this system : 1786. Installing RALUS patch 1786.1093 for Linux64	1059	
Stopping Symantec Backup Exec Remote Agent Stopping Symantec Backup Exec Remote Agent: Newer AOFO-L driver present for RALUSupdating Verifying archive integrity All good. Uncompressing Symantec symbdsnap, build 3 1 0-51855	[OK]	
Finished installing RALUS patchrestarting RALUS services		
Starting Symantec Backup Exec Remote Agent		
Starting Symantec Backup Exec Remote Agent:	[ΟΚ]	

23. 以下のコマンドを実行し、「ralus=」行が適用した修正のバージョンになっていることを確認します。

cat /var/VRTSralus/ralus.ver ralus=1786.1093.SP2 mdm=MDM_v42.0.7289 vxms=VxMS_4.4_045

- 24. 修正が複数ある場合は、手順 19~手順 23 を繰り返します。
- 25. 以下のコマンドを実行し、修正が格納されているディレクトリを削除します。これで、修正適用作業は完了です。



第7章 CASO 環境への修正適用

CASO 環境に修正を適用する方法について説明します。 CASO 環境では、集中管理サーバ、管理対象サーバの順に修正を適用します。

7.1 集中管理サーバの修正適用

集中管理サーバに修正を適用します。

手順

- 1. 集中管理サーバに Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- 2. Backup Exec 管理コンソールの「ストレージ」タブを選択します。

8	Symantec Backu	p Exec™ 2014 (集中	『管理サーバー)	
 ○< ス ス ホーム バックアップとリスト: 	ア ジョブモニター ストレージ	夏 レポート		集中管理サーバー
□ 電標準 □ コンパクト ソートとフィルタ	一時停止 ごうちょう 無効 ストレージを設定 トラブ	ジョーティング 削除 共	有 インバントリ 今すぐにインバントリ処理とか	タログ登録をする リストア
Ea-	状態	設定	ストレージ操作	メディア操作
		すべてのストレージ	_	BE50S2MBES 詳細 ➡
名前		状態 ストレージの利	重類 実行中とスケジュール	し設定済みのジョブ
BE50S2CAS 集中管理サーバー		オンライン 集中管理サ	ーバー 🙀 2 バックアップ	
		オンライン 管理対象の	Backup Exec サーバー 🛛 🗟 2 バックアップ	
	3 12 0 1 9 ≈=7 9 2	💌 o 🏖 o 🛛 🕸		Symanter
				Jymantee.

3. 表示された管理対象サーバを右クリックし、「通信の有効化」を選択し、通信を無効化します。



 Backup Exec 管理コンソールの[Backup Exec]ボタンから、「インストールとライセンス」の「LiveUpdate」を選 択します。

8		Symantec Backup Exec™ 2	014 (集中管理	₫サーバー)	_ D X
8	こ ホーム パックマッ	₹ ■ ■ ■プレリフトア ジョゴエーター フトレーミ レポート		集中管	き理サーバー 🔒
	Backup Exec サーバーに接続	この Backup Exec サーバーにオブションと ライセンスをインストールする		1ンペントリ 今すぐにインペントリ処理とカタログ登録	をする リストア
- 22-	構成と設定	他のサーバーにエージェントと Backup ・ Exec サーバーをインストールする		ストレージ操作	メディア操作
		LiveUpdate	ージ	B	50S2MBES 詳細 🔶
85	インストールとライセンス	インストール済みの更新	ストレージの種類	実行中とスケジュール設定済み	のジョブ
	Symantec オンライン	ライセンス情報	集中管理サーバー	😪 2 バックアップ	
\mathbf{v}		保守契約情報	管理対象の Back	kup Exec サーバー 🛛 😪 2 バックアップ	
6	テクニカルサポート	▶ 保守契約顧客番号			
0		ユーザー使用許諾契約書			
2	~JJJZ~=1/JJ	▶ インストールの概略レポート			
I	閉じる				
٠					Þ
0	J BE50S2CAS アラート	😵 0 🔥 3 😨 0 😗 11 🛛 💬 37 🍇 2 🜉 0 🎎 () 🔅		Symantec.

5. [次へ]ボタンをクリックします。



6. インストール可能な修正にチェックが入っていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

(?)	LiveUpdate	x
オプション(0)		
	LiveUpdate が次のシマンテック製品とコンボーネントの更新版を見つけまた。更新版をインストールしたくない場合にはチェックマークをはずしてください。	ι.
	E-V Symantec Backup Exec (TM) 2014 └─V BE 2014 SP2 is coming soon to LiveUpdate!] :
4100	< III	>
1 min	1 個の更新版を選択しました 合計サイズ: 2578.4	КВ
	↓ 更新版 Symantec Backup Exec (TM) 2014	^ ~
	[次へ(N)] をクリックすると更新版をダウンロードしてインストールできます。	
	次へ(N) > キャンセル へルプ	

7. 修正が適用されると以下の画面が表示されるので[完了]ボタンをクリックします。

ଡୁ	LiveUpdate
オプション(0)	
	LiveUpdate なお使いいただきありがとうごさいます。次のシマンテック製品やコ ンポーネントが最新版になりました: ■ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	完了 キャンセル ヘルプ

- 8. 集中管理サーバを再起動します。
- 9. 再起動完了後、集中管理サーバに Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- 10.「<u>第3章 適用可能な修正の確認</u>」を実施し、適用可能な修正がないことを確認します。 適用可能な修正があった場合は、その修正を適用します。
- 11. Backup Exec 管理コンソールの「ストレージ」タブを選択します。

8	Symantec Back	up Exec™	2014 (集中管理サ	-" //—)	_ D X
 □ □	<u>₩</u> ストア ジョブモニター <u>スト</u> レー	ジ レポート		1	キャ管理サーバー
□ コンパクト リートとフィルク □ コンパクト	一時停止 ご言う 無効 ストレージを設定	ジョーティン	メ シ ジ 削除 共有	「ハベントリ」 今すぐにインベントリ処理とカタロ!	7登録をする リストア
Ĕユ-	状態	設定		ストレージ操作	メディア操作
		すべてのス	レージ		BE50S2MBES 詳細 ➡
名前		状態	ストレージの種類	実行中とスケジュール設定	定済みのジョブ
BE50S2CAS 集中管理サーバー		オンライン	集中管理サーバー	😪 2 バックアップ	
		オンライン	管理対象の Backup	o Exec サーバー 🛛 🗟 2 バックアップ	
					+
🔅 🎒 BE50S2CAS 🛛 アラート 😣 0	🔥 3 🕜 0 🕡 12 🛛 🏂 🍇	2 🔀 0 🛃	0 🔉		Symantec.

12. 表示された管理対象サーバを右クリックし、「通信の有効化」を選択し、通信を有効化します。

8	Symante	c Backup Exec™ 2	2014 (集中管理	ピサーバー)	_ 🗆 X
	₩ 7 ジョブモニター				集中管理サーバー
「標準 コンパクト ソートとフィルタ 「、ツリー表示 リスト表示	一時停止 一時停止 無効 オフライン ストレージを	設定 トラブルシューティング	★ 戸 前除 共有	1ンペントリ 今すぐにインペントリ処理とか	タログ登録をする リストア
ยัユ-	状態	設定		ストレージ操作	メディア操作
	_	すべてのスト	レージ	_	BE50S2MBES 詳細 ➡
名前		状態	ストレージの種類	実行中とスケジューノ	レ設定済みのジョブ
BE50S2CAS 集中管理サーバー		オンライン	集中管理サーバー	😪 2 バックアップ	
BE50S2MBES 管理对 动物定		無効	管理対象の Back	kup Exec サーバー 🛛 😪 2 バックアップ	
Backup Exec サーバーブ	ールの作成				
一時停止					
通信の有効化					
Backup Exec サービス					
Backup Exec Diagnost	tics				
Backup Exec サーバーに	接続				
∦削除	Delete				Þ
BE50 詳細		🎕 2 👿 0 🊵 (0 🔅		⊘ Symantec.

13. 続けて「<u>7.2 管理対象サーバの修正適用</u>」を実施します。

7.2 管理対象サーバの修正適用

集中管理サーバへの修正適用後、管理対象サーバに修正を適用します。

- 1. 管理対象サーバに Administrator でログオンし、Backup Exec 管理コンソールを起動します。
- Backup Exec 管理コンソールの[Backup Exec]ボタンから、「インストールとライセンス」の「LiveUpdate」を選択します。

8	Symantec Backup Exec™ 2014 (f	管理対象の Backup Exec サーバー)
	-117.57 - 5-17E-0 75U-33 U.F-	
Backup Exec サーバーに接続	この Backup Exec サーバーにオプションと ライセンスをインストールする 他のサーバーにエージェントと Backup	 □ テクニカルサポート マ インストールとアップグレード マ Fキュメント マ Fキュメント マ ライセンスおよび保守契約 マ Symantec RSS リーダー
 構成と設定 インストールとライセンス 	Exec サーバーをインストールする LiveUpdate	ックアップ状態 ☆ □ ×
Symantec オンライン・	ライセンス情報 保守契約情報	バックアップがこのサーバーで実行され、正常に完了しました。
€ テクニカルサポート ・	保守契約顧客番号 ユーザー使用許諾契約書	成功: 10 失敗: 0 未処理: 1
	インストールの概略レポート	バックアップ成功 成功(例外処理あり): 0
4 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		ックアップサイズ ☆ ロ × 5: 7日 ▼ ▼ 完全 ▼ 増分 ▼ 差分
Simplified I ます。 ディザスタリカリ インストールとアップグレード	Disaster Recovery ディスクを作成する必要があり リディスクの作成 ※ ロ ×	
BE50S2MBES アラート 🤅) 0 🛕 2 😨 0 🕞 7 🗦 ジョブ 🕸 2 🜉 0 器	a 0 🔅 🧭 Symantec.

3. [次へ]ボタンをクリックします。



4. インストール可能な修正にチェックが入っていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

ଡ	LiveUpdate	x
オプション(0)		
	LiveUpdate が次のシマンテック製品とコンポーネントの更新版を見つけました。更新版をインストールしたくない場合にはチェックマークをはずしてください。	
	B- ♥ Symantec Backup Exec (TM) 2014 └─ ♥ BE 2014 SP2 is coming soon to LiveUpdate! (]
	< III 2	>
5 miles	1 個の更新版を選択しました 合計サイズ: 2578.4 k	¢В
	● 更新版 Symantec Backup Exec (TM) 2014	< >
	[次へ(N)] をクリックすると更新版をダウンロードしてインストールできます。	
	次へ(N) > キャンセル ヘルプ	

5. 修正が適用されると以下の画面が表示されるので[完了]ボタンをクリックします。

(P)	LiveUpdate	x
オプション(0)		
	LiveUpdate がこの更新版を正常にダウンロードしてインストールしまし	3
	完了 キャンセル ハルプ	

- 6. 管理対象サーバを再起動します。
- 7. 「<u>第3章 適用可能な修正の確認</u>」を実施し、適用可能な修正がないことを確認します。 適用可能な修正があった場合は、その修正を適用します。
- 8. 「<u>第6章 リモートコンピュータへの修正適用</u>」を実施し、登録されているリモートコンピュータに修正を適用しま す。

FUJITSU Storage ETERNUS BE50 S2 運用ガイド Symantec Backup Exec 2014 修正適用編 P3AM-9402-01Z0 発行日 2015 年 2 月 発行責任 富士通株式会社

- □ 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書の内容は、細心の注意を払って制作致しましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する
 運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承願います。
- □ 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその 責を負いません。
- □ 無断転載を禁じます。

